

令和6年度

内閣総理大臣
表彰

厚生労働省推薦

社会福祉法人 埼玉聴覚障害者福祉会

(埼玉県入間郡毛呂山町)

【団体概要】

➤ 昭和61年、ろう重複障害者の共同作業所である「どんぐりの家」を結成後、平成6年「社会福祉法人埼玉聴覚障害者福祉会」を設立。主に埼玉県内の聴覚障害児・者の自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的に活動。同福祉会は、障害者支援施設、特別養護老人ホーム、聴覚障害者情報提供施設、共同生活援助、放課後等デイサービスの経営等を行っている。



(特別養護老人ホームななふく苑)

【功績・功労】

➤ ろう重複障害者の共同作業所「どんぐりの家」開所。これをきっかけに県内では在宅ろう重複障害者を掘り起こし、「なかま」が増えていくと同時に、当事者団体を中心とした運動は県外にも大きく影響を与え、各地でのろう重複障害者施設建設運動の活性化に寄与した。



(どんぐりの家)

- 重度身体障害者授産施設「ふれあいの里・どんぐり」を開所。ろう重複障害者の生活・就労の場の建設運動は漫画「どんぐりの家」としてコミック誌に掲載され、社会的に大きな注目を浴び、きこえない・きこえにくい人たちの生きづらさが社会に啓発され、全国的なろう重複施設等の設立に大きく寄与。



(ふれあいの里・どんぐり)



(漫画「どんぐりの家」(小学館HPより))

- 本福祉会の全ての施設・事業所では、なかま(=利用者)が自分の言葉＝手話言語で作業や生活ができる環境が整えられており、このようなろう者を主体としながらも手話のできるきこえる人たちとの協働活動は、手話言語を軸とした情報バリアフリー社会の構築に大きく貢献。



(パン作りの様子)



(なかま集会)